

堀尾貞治

Sadaharu Horio

1939 - 日本

アーティスト。吉原治良に師事。戦後の前衛美術運動をリードした具体美術協会(1972年解散)の会員。60年代以降、布や石、材木など身近な廃物を用いた作品やパフォーマンスを通じ、日常生活にアートを取り込む活動を展開。

1939 - Japan

Artist. He studied under Jiro Yoshihara. He is a member of the Gutai group (dissolved in 1972) which led the post war avant-garde art movement. Since the 1960s, he had extended his activity to bring art into everyday life through works and performances using daily scraps such as fabric, stone, and wood.

堀尾貞治

堀尾貞治による図書館
あたりまえのこと(部分)

2000年

二宮金次郎の像、木片



Sadaharu Horio

Library by Sadaharu Horio "something usual" (partial)

2000

Statue of Ninomiya Kinjiro, wood

<GAME OVER展 1999年11月13日～2000年4月9日より> この展覧会は20世紀から21世紀に向かうためのリセット・ボタンとして、変化・行為・過程・機能などをキーに開催。堀尾貞治は4階会場に<図書館>を制作。会期中、「水枕」(11月13日～12月4日)、「木片」(12月5日～1月6日)、「色ぬり」(1月7日～1月31日)、「まんが」(2月1日～4月9日)と題し、展示が変化しつづけた。本作は「木片」のインスタレーションの一部。